受け継がれてきた炎を、次の世代へ
細野高原・すすき草原保全プロジェクト



１．事業概要

静岡県東伊豆町にある細野高原は、江戸時代から続くとされる「山焼き」によって守り継がれてきた、関東エリア屈指の広大なすすき草原です。

しかし、近年は山焼きを担う人材の高齢化や人手不足が進み、安全な山焼きを継続していくことが難しくなっています。

この美しい草原を未来の世代へ引き継いでいくため、企業の皆様の温かいご支援をお願いいたします。

２．背景・地域課題

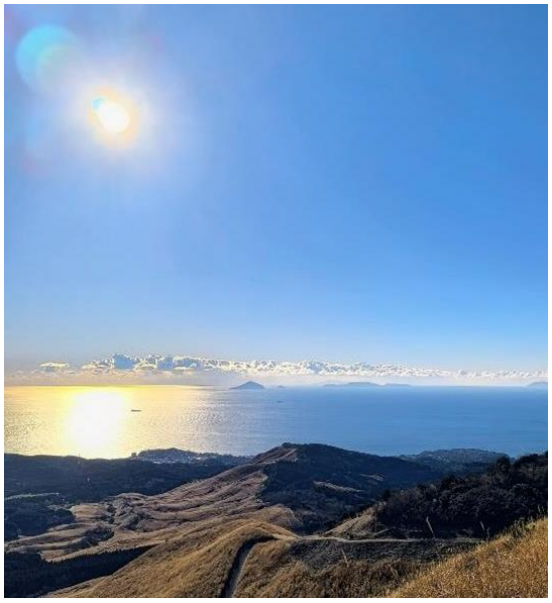
細野高原は、「山焼き」という人の手による管理を続けることで維持されてきた、人と自然が共につくり上げてきた草原（二次草原）です。

山焼きを行わずに放置すると、数年のうちに灌木や森林へと遷移し、現在の美しいすすき草原の景観が失われてしまいます。また、ハイキングや観光の場としても、多くの人に親しまれ、地域を支える大切な観光資源となっています。

一方、近年は山焼きの担い手の高齢化が進み、実際に作業に従事できる人員も年々減少しています。火を扱う作業であるため、安全を確保するための装備や実施体制の整備は欠かせませんが、十分な体制を確保することが課題となっています。

また、新たな担い手を育成する仕組みづくりも必要です。

このままでは、安全な山焼きの継続が困難となり、細野高原の貴重な景観を次世代に引き継ぐことが難しくなるおそれがあります。



細野高原から望む朝日



細野高原を訪れるハイカー

3．事業の内容・資金使途

皆様からいただいた寄附金は、山焼きの実施主体である稲取地区特別財産運営委員会への補助金として活用し、山焼きの実施に必要な経費に充当します。

安全な山焼きの実施体制を整え、細野高原の美しいすすき草原を未来へ守り継いでいくために活用させていただきます。



山焼きの火入れ作業



山焼きの安全を守るために
必要な消火用ホース